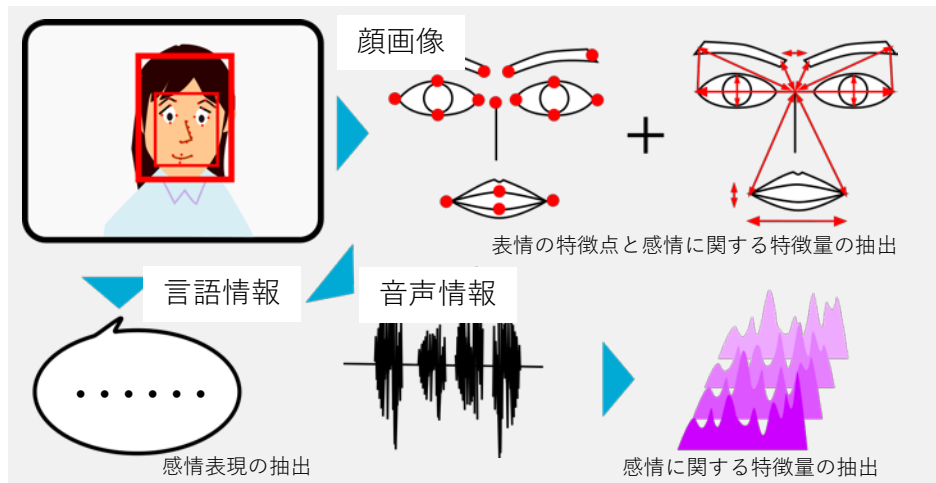


webを活用したマルチモーダルな感性情報処理と人工知能によるうつ状態・不安状態の検出



沼田・中瀬：研究に参加する医療従事者・うつ病患者・不安障害患者のリクルート・精神症状の評価、心理検査

井崎：大学生へのアンケート調査および研究に参加する大学生のリクルート



任・松本：顔画像・音声・言語情報から感情を抽出・統合して人の気持ちを推察する技術の確立



山本：人の気持ちを推察する技術の人工知能アルゴリズムへの応用

課題：感染症流行禍による隔離生活はメンタルヘルスの問題を引き起こし、その検出が難しい

達成目標

- ✓ 感性情報処理技術の確立
- ✓ データの人工知能アルゴリズムへの応用
- ✓ 特許取得
- ✓ アプリの開発、精神疾患患者での検討